

2022年01月14日

ルーラは依然トップを独走

teleSUR News > Brazil

13 January 2-22

Lula Keeps Leading 2022 Brazilian Presidential Elections

<https://www.telesurenglish.net/news/Lula-Keeps-Leading-2022-Brazilian-Presidential-Elections-20220112-0010.html>

リード

22年最初の世論調査で、ルーラは依然トップを独走中。二位はジャイル・ボルソナロ現大統領で、その差は23%。3位は元裁判官のセルジオ・モロで、支持率12%となった。



最新の世論調査

5日に Quaest Advisory 社の世論調査が行われ、45%の支持を集めた労働者党の Lula da Silva が、トップに立った。

対抗馬はボルソナロ現大統領で、23%の差がついている。元裁判官のセルジ
オ・モロが12%の票で3位になった。残りの候補は、投票の10パーセント以
上を集める可能性は低い。

第1回目の投票は10月に行われるが、決選投票に回った場合は、ルーラが
50%以上を獲得し、ボルソナロは30%未満に留まるだろうと予想されてい
る。

新型コロナとボルソナロ

この調査では、ボルソナロ政権のパンデミック対応に対する市民の評価も加え
られている。

調査対象者の72%がボルソナロの対応を否定した。

回答の内容を調べると、この極右政治家が社会的に脆弱な人口集団、特に子供
たちの病気への影響を軽視し続けたことが理由となっている。

「子供にワクチンを打つ必要はない。なぜなら子供はコロナウイルスで死ぬ可
能性が低いからだ」と、ボルソナロは言い放った。

そして児童へのワクチン接種を勧告した国家衛生監督庁（ANVISA）を非難し
た。「彼らはワクチン接種の狂信者である」と。

しかし、ブラジルではこれまでに900人以上の子供たち（1歳未満の赤ちゃん
520人を含む）がこの病気で亡くなった。

この事実は大統領の発言と矛盾している。

この点についてルーラは語る。

「私たちは、経済エリートの利益に忠実な政権に苦しめられている。私はブラジルの名誉と国民の尊厳を取り戻すために、もう一度力を振りたいと思う」